



# 週報

# VOL XVI

佐 沼 ロ ー タ リ ー ク ラ ブ

## LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で 道を照らそう

第 7 7 7 回例会

例会場 七十七銀行佐沼支店ホール TEL(2)-2577  
例会日 毎週木曜日 12.30~13.30  
事務所 振興相互銀行佐沼支店 TEL(2)-2547

会長 千葉重雄  
幹事 大河内 清  
週報 白石謙造 村上武彦 小林忠秋  
阿部正美 秀 義弥

1980. 3. 6 No.29

◎ 本日の出席率 35名中29名出席 出席率82.85%  
欠席会員 布施孝雄会員、遊佐(新)会員、秀会員、若見  
会員、太田会員、遊佐(徳)会員

◎ 前回修正出席率 97.14%

◎ ニコニコボックス

○ 布施孝之会員

長男、孝尚君3月1日佐沼高校を卒業致しました。お  
めでとうございます。

○ 壹岐会員

台北西門RCの週報に小生の訪台が掲載され、大変光  
栄に存じます。

○ 阿部会員

3月3日、14回目の結婚記念日を迎えました。同3  
月5日長男、正松君13歳の誕生日を迎えました。誠に  
おめでとうございます。

◎ 会長要件

本日、3月第1週目の例会を皆様と共に元気に迎えられ  
嬉しく存じます。入進学シーズンと年度末とで会員皆様  
には多忙な毎日をお過しのことと思います。どうぞこれか  
らもお元気にしてお過し下さいませようお願い申し上げます。

さて、昨日RIより75周年記念旗が送られて参りました  
ので後日掲示致します。75周年について本日齊藤情報  
委員長よりロータリーの歴史をも含めお話を頂戴するこ  
とになっておりますのでご静聴賜わりたいと存じます。

本日例会終了後、理事会を開催致しますので理事の方々  
宜しくお願い致します。

◎ 幹事報告

○ 第252地区の菅野パストガバナーが1980年1月  
1日よりRI特別委員会委員に任命されました。国際ロ  
ータリークラブ発展のため皆様からのご提言をお願いし  
たいとの文書が届いております。委員会名はアドホック  
委員会と称され任期は2年です。日本から4名が任命さ  
れました。

○ 2月中断しておりました会員誕生祝品がメーカーの  
事情で当初の予算では準備出来ない事態となりましたの  
で本日の理事会にてご検討頂くことと致します。参考ま  
でに2,000円で準備しておりました物が今回2,400

円と大巾にアップされました。

○ 本部より諸規定の改定の連絡文書が参っております。  
齊藤先生にご覧いただき、後日ご説明賜わりたいと存じ  
ますが私がチョッと見た感じではクラブ内規の運用の拡  
大で女性会員の入会が認められる様になり、また、シ  
ニア会員の例会出席が緩和される方向になって来るよう  
です。クラブとしても何れ検討をしてみたいと思います。

○ 会員の皆様に会費納入のご協力をお願い致します。

○ 新会員推薦用紙を手許に差しあげておりますが来週  
の例会まで記入の上、提出をお願い致します。

◎ 職業奉仕委員会(千葉(春)委員長)

優良従業員の表彰についてですが、お蔭様で現在のところ  
13名の申込が参っております。この中で氏名がはっきり  
していない方がありますので至急ご連絡お願い致します。  
3月27日に表彰式を行いたいと思います。

◎ 国際奉仕委員会(布施委員長)

台北西門クラブの会報が参っておりますが、その中で壹  
岐会員についての喜ばしい記事が載っておりますのでご紹  
介致します。会員消息の欄に「去る1月29日姉妹クラブ  
締結を行った日本・佐沼クラブの壹岐憂郎会員より西門ク  
ラブの張副会長宛に一通の懇切丁寧な手紙を頂戴しました。  
10年来の友のように親切にいただき心から感謝致し  
ます……と中国語で記され、一片の日本語も使用せず誠に  
珍らしく貴重なものである云々」と、姉妹クラブとして親  
善が更に深まることともなり嬉しい限りで、今後あらゆる  
機会を有効に進めて参りたいものです。

◎ 情報委員会(齊藤委員長)

ロータリー75周年に関してのスピーチと云うことでは  
が、会員皆様には既にご承知のことばかりと存じますが「原  
点に帰る」ということから少々お話をさせていただきます。  
先日「ロータリー50年誌」を緋いてみましたのですが、  
その中から引用してみますと日本で初めてクラブが出来  
たのは1920年の東京クラブで1921年4月1日認  
承され、本年で60周年を迎える訳です。当時のクラブ会  
報は全文英語で記載されておりました誠に奇妙に感じら  
れる訳ですが、それというのも、そもそもはロータリー入会  
者は英語に堪能な者ということもあって発足以来その歴史



は英文が主体となって続いた訳で大変感心した次第です。さて、ロータリーの基本原則については1976年ニュオリンズの国際大会で当時のRI 会長だったロバートA マンチェスタ二世は次の通り述べております。

ロータリーは

1. 超我の奉仕を信ずる人々の親睦の集まりである。
  2. あらゆる事業、専門職業の人が通常の仕事の範囲を超えて倫理的規範にまで高めるための手段である。
  3. 道徳的支えを必要としている人々と直接ふれ合い、交流し合うために貴重な時間と物品を進んで提供する意志のある「多忙な人々」の親睦の集まりである。
  4. 各人の天職を通じて他の人々に奉仕することである。
  5. 一つの生きかたとして自ら献身することである。
- 以上5つの原則の中で3番目の「多忙な人々」と表現されていることは大変興味深いこととあります。

ところで、ロータリーが設立された1905年頃はどうかであったかを見たいと思います。

初めて会合が持たれたのは1905年2月23日と云われております。規定が出したのは1906年1月でその定款によると

第1条 会員の職業上の利益の増進

第2条 親交と社交のクラブに普通付帯する望ましい事柄の増進

と定められた訳ですが表現的に多少曖昧なものとなっております。この2条ののち、同年末に第3条が加えられ、第3条 シカゴ市の最善の利益を振興し、会員会議市民としての誇りと忠誠の精神を鼓舞すること

となっております。ご存知の通りロータリーは会員の職場を次々と廻り持ちすることになっており、1年制が原則であります。これに類することは遠くギリシャの時代からございましてソクラテスやキケロのときにもそのような会合がございましたし、17世紀にはロンドンで会員が招き合うという方式が行われ、ロータリーではなく「ロータ」という組織ができております。それから18世紀の後半には「ローテーションクラブ」ができ、毎週会食が行われましたし、アメリカでもそれに類するような職業別会員制度がベンジャミン、フランクなどによって創設されております。次にポールハリスに関してですが、シカゴにはじめて出来た時の4人の中の1人でありまして会長になったのは第3代目でございます。彼の倫理観ですが、ロータリーに類するものとロータリーの違うところは「奉仕の理想を追求する熱意の激しさと強さにある」と説き（1907年頃）

そして、1910年8月に全米にロータリークラブ連合会が結成されることとなります。その時のクラブ数は16クラブで会員数は1,800名でした。会長はポールハリスでございますのでその大会の決議事項をみますと、

第1に アメリカ合衆国におけるロータリークラブの加入する組織によってロータリーの原則を拡大、発展せしめること

第2に 全アメリカ合衆国加入ロータリークラブの業務と原則とを統一すること

第3に 市民としての誇りと忠誠を喚起し、且つこれを奨励すること

第4に 進歩的で尊敬すべき商取引の方法を推進すること

第5に 加入ロータリークラブの個々の会員の商業上の利益を増進すること

以上のようになっております。そもそもクラブができましたのも地方からシカゴに出てきておりましたポールハリス、鉦山技師のガスターバスト・ロア、仕立屋のハイラムショウレイ、石炭商のシルベスタ・シール等4人は都会での他

の人々との交流もなかったため、常に孤独感を味わっており、それを親睦により解消し商取引を乍ら互いに利益をあげよう、とのことから始まったものといわれ、先程の決議の中にもとり入れられておる訳です。

そして、1910年代にはアメリカからカナダに発展しウイニペクに最初のクラブが誕生、翌1911年には大西洋を越えてロンドン、マンチェスタに、また、アイルランドのダブリンとベルファストにとそれぞれ誕生しまして、ロータリーもいよいよ国際的になった次第です。

1912年にアメリカのミネソタ州ドウルズで大会が行われ、41クラブが集まったそうで、この時ロータリークラブ国際連合会が設立され、同時に地区割が出来ました。その当時はディヴィジョンと申され、現在のディストリクトでございますが、米国で5地区、カナダが2地区、イギリスが1地区の計8地区が割当てされた訳です。この年には「ザ・ロータリアン」が発刊されております。1913年になると「社会奉仕の奨励」ということが取り上げられております。1915年サンフランシスコの国際大会はロータリー歴史上、大変意義深い大会でございまして「11ヶ条の倫理訓」と「6項目の綱領」ができました。この倫理訓の中では従来の「互恵主義」から「他への奉仕」という倫理が出来あがった訳でございます。その後、1921年エジンバラの初の海外国際大会が開催され、その時、綱領の中に「平和」と「善意」という項目が加えられました。1922年「国際ロータリー」と名称が改名されました。1923年セントルイスで行われた国際大会では「34号決議事項」として現在の「奉仕の倫理」が採用され、ロータリーの奉仕の哲学が説かれております。それを読んでみますと「これはロータリーの奉仕の哲学を説き社会奉仕活動が個人に限らず団体としても望ましいと述べ、それを行う場合、その地区社会に求められておるものは何かを調査し、それをなすべき機関や施設があるか否やを確かめ、あればそれに協力し強化することで二重加を避け、なければ適当な企画をたて、途中で挫折しないよう注意して行うべし」となっております。この倫理が現在迄ずっと続いていると考えていいと思います。

ところで、「四つのテスト」について最後にふれてみたいと思います。皆様すでにご承知かと存じますが、もともとはこれは借物だったそうです。1933年メンバーの1人だったハーバート・テラーが破産寸前のアルミニウム会社の社長として再建にあたった時、自分と社員に守らせたものがこの「四つのテスト」でありました。勿論、これの著作権は会社にはありましたが、多分その後20年位のうちにロータリーに譲渡されたものようです。現在のものはロータリー50周年記念の時、本部より委任された手島友武氏がロータリアンより公募して決定されたものと云われております。この訳についてはこれ以上のものがあるかどうかは別として、ロータリー75周年に際してこれらの歴史をふりかえってみることに将来の指針を模索することになったのではないかと考え一端を申し上げた次第です。拙い話して恐縮でしたが以上で終りと致します。（四つのテストの原語は割愛させていただきます）

#### ◎ 報告（壹岐会員）

先週二つの他クラブ例会に出席致しました。一つは私の郷里の沼津クラブで久しぶりに出席して参りました。これが火曜日でその後、木曜日横浜の義弟のところへ行っただけ、一緒に行かないかとのことで、横浜北クラブに出席致しました。当クラブから初めてということと素晴らしいバナーを頂戴して参りました。当日、卓話の時間に民謡歌手が招かれ大変賑やかな例会で変わった例会もあるものだなあと感じしております。